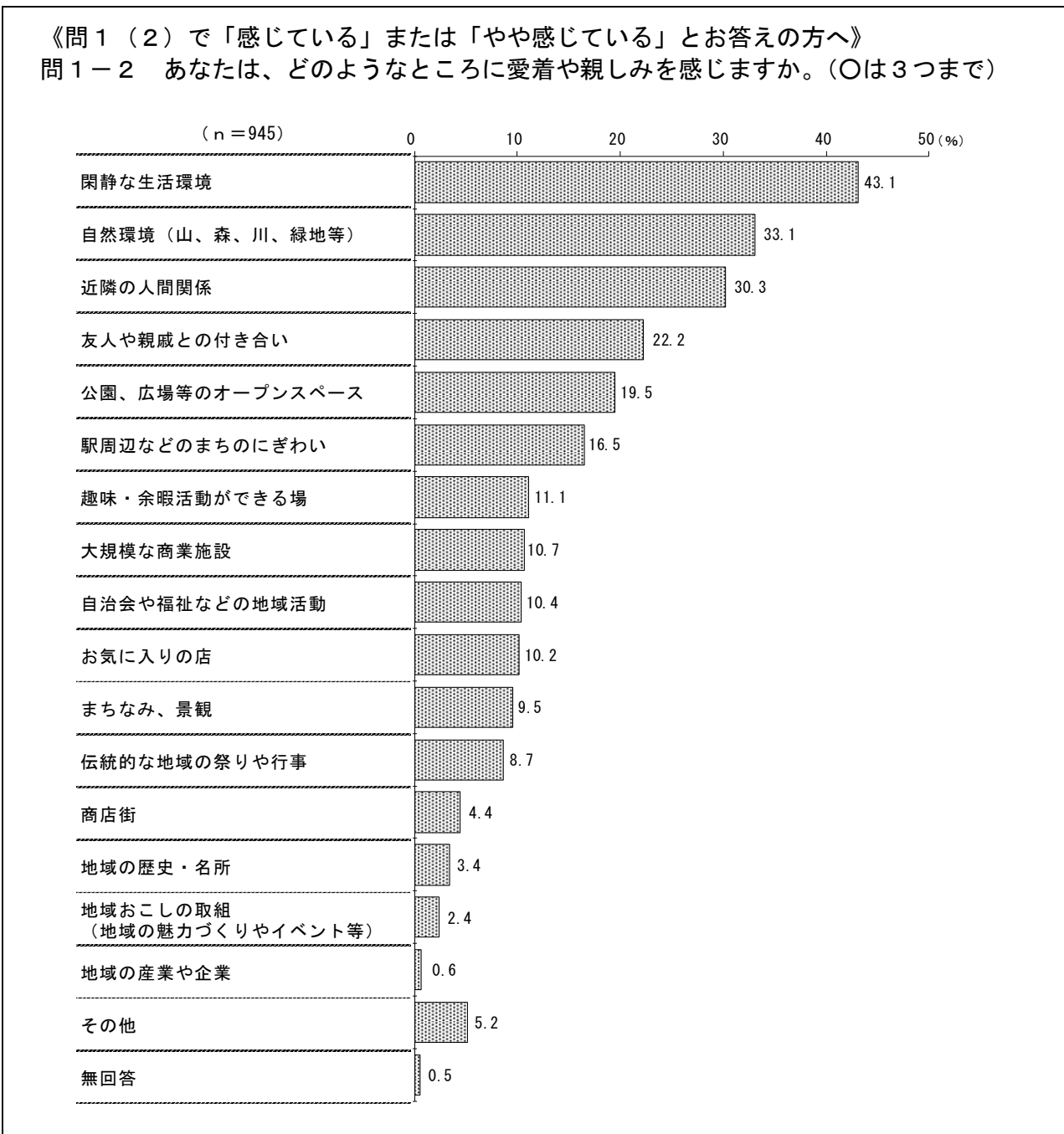


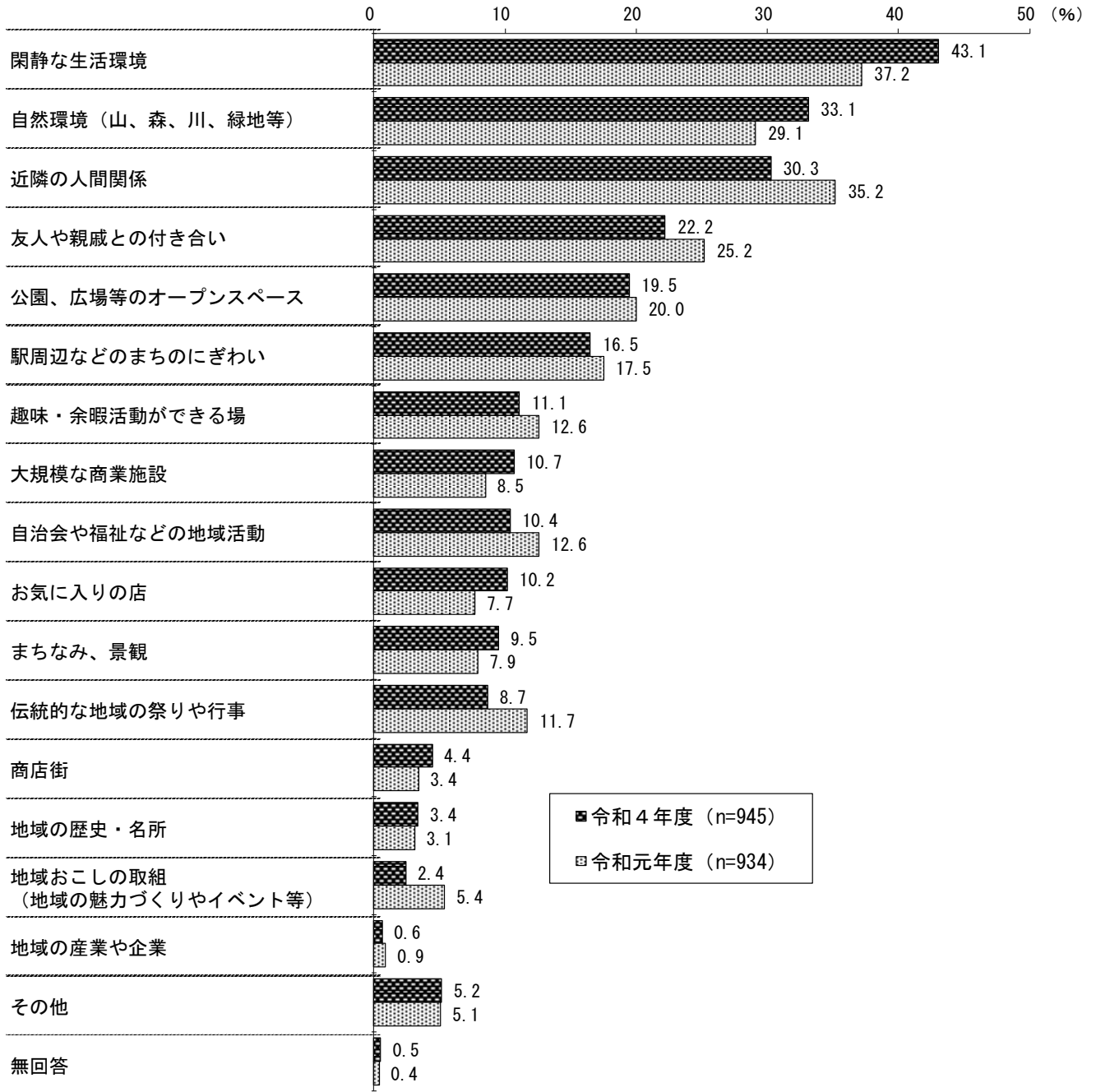
(2-1) 居住している区に愛着や親しみを感じるどころ



お住まいの区に対して愛着や親しみを「感じている」または「やや感じている」と答えた方に、どのようなところに愛着や親しみを感じているかたずねたところ、「閑静な生活環境」(43.1%)が4割を超えて最も高く、次いで、「自然環境(山、森、川、緑地等)」(33.1%)、「近隣の人間関係」(30.3%)、「友人や親戚との付き合い」(22.2%)と続いている。

<経年比較>

過去の調査結果と比較すると、「閑静な生活環境」は令和元年度より5.9ポイント増加している。一方、「近隣の人間関係」は令和元年度より4.9ポイント減少している。



<性別・性／年齢別・区別結果> (上位10項目)

性別でみると、「友人や親戚との付き合い」で10.6ポイント、「近隣の人間関係」で7.2ポイント、それぞれ女性が男性より高くなっている。一方、「閑静な生活環境」で7.1ポイント、「公園、広場等のオープンスペース」で4.6ポイント、それぞれ男性が女性より高くなっている。

性／年齢別でみると、「閑静な生活環境」は男性30～39歳、男性30歳未満、男性50～59歳で5割を超えている。「近隣の人間関係」は女性70歳以上で4割を超え、高くなっている。

区別でみると、「自然環境(山、森、川、緑地等)」は緑区で5割を超え、高くなっている。「閑静な生活環境」は全ての区で4割を超え、高くなっている。

